

美々津中学校便り



10月発行号

文責：横山 博章（校長）

地区中学校秋季体育大会（中体連秋季大会）に思う

9月24日（土）、25日（日）に日向地区中学校秋季体育大会が開催された。1，2年生新体制での最初の中体連大会である。今までの各部活動の練習の成果をしっかりと発揮してきてほしい、美々津中学校の生徒として自信をもってプレーしてきてほしいとの願いから、22日（木）に行った選手推戴式では、是非、勝利してきてほしいとエールを送った。24日（土）は、美々津中学校体育館が会場となる女子バレーボール競技の責任者として、1日大会の様子を見守った。美々津中学校の初戦は、1回戦の勝者であり、ここに勝てば、優勝に近づくであろう財光寺中学校であった。夏の総合体育大会では、決勝でフルセットの末敗れた相手である。相手チームは総合体育大会で主力となった選手が残る中での試合となった。1セット目を攻守がかみ合った本校が取り、2セット目を取り返され、やはりフルセットの戦いとなった。相手の攻撃は、本校の粘り強さや気迫によるプレッシャーもあってか、強攻ではないと感じたが、若干の経験の差がでたか、接戦の上4点差で惜しくも負けてしまった。しかしながら、大会前日の大分県No.1チームとの練習試合の成果もあってか、会場全体を緊張感で引き込ませる、息を飲む試合を展開してくれたことに選手たちの大きな成長を感じたところである。試合後、応援保護者への挨拶、監督・コーチからの話を終え、大会本部の私のところへ挨拶に来てくれた。どの子も悔しさと涙を浮かべている姿に接し、今後、この子たちは一層力をつけ、強くなっていくだろうと確信をもった。大会では、3年生のバレー部員が受付などの補助員として加勢をしてくれ、保護者には朝早くから大会本部接待の準備をしていただいた。バレー部を支えてくれる人たちの強力なバックアップがあってこそこの美々津中バレー部の一体感が生まれていると改めて感心させられた。また、特筆すべきは、1，2年生バレー部員の他校試合での線審、得点板の動きである。きびきびとした動きに爽やかさを感じさせ、他校の模範となる立派な姿に感動した。

25日（日）は、ソフトテニス個人、卓球個人、軟式野球競技が行われた。ソフトテニスは、24日に団体戦が行われ、決勝で平岩小中に2対1で勝利し、念願の優勝を果たした。24日の朝、学校集合で会場に出発する選手たちに、「私は団体戦を見に行けないが、今までの練習の積み重ねに自信をもって、力を発揮してほしい」と送り出した。選手たちの優勝に向けた気持ちの高まりの表情がそこにはあった。結果、期待通りの成績を収めてきてくれたことが嬉しかった。さて、個人戦である。通常団体戦で優勝した学校には、相手からのマークやプレッシャーが強くなり、より厳しい戦いとなる。それをほねのけ、1位、3位、ベスト8と3ペアが県大会出場を決めた。団体に引き続き素晴らしい結果であった。心・技・体の充実したプレーを展開してくれた。県大会での活躍を祈りたい。卓球競技は、1年生2名、2年生1名の部員数で、多くの攻撃パターンが練習しづらい中、顧問教師も練習相手となりながら日々活動してきた。卓球は、ラケットにはあってあるラバーの種類によって様々なプレースタイルがある。ラケットの面使いによる球の回転の強弱や方向などバリエーションに富み、スピードも相まって、勝つためには、試合の中で瞬時に予想・判断して対応する高度な技術が要求される。1年生の試合を見ることができたが、二人とも意志をもって攻める卓球をしていていた。特に球を当てる位置の安定さは他の学校よりもすぐれていると感じた。今後の技術習得に励むことで大きな成長が期待できると感じた。また、試合に負け帰宅する選手が多い中、補助員として審判を頑張ってくれたと聞いている。競技に望む素晴らしい姿だと思う。軟式野球競技は1戦目が門川中・日向中合同チームとの対戦であった。1回表に5点、2回表に4点を取り、序盤で大量得点、最終的には13対2で危なげなく勝利した。午後からの

決勝戦が楽しみな状況であった。予定時間より30分ほど遅れて開始の決勝戦、選手も監督も、そして保護者も気合いの入った開始前、相手は大王谷中、1回表チャンスはあったが0点に抑えられ、その裏2点を先制される。さらに5回裏に7点献上、1対10となり、相手はコールドと思ったようだが、決勝戦はコールド無し、集中の途切れた選手に監督が檄を飛ばす。「さあ、試合はまだ続く、これからだぞ!」、やられた感が現れている保護者に向かって、「なに落ち込んでいるんですか、ここからですよ、応援お願いしますね。」と笑みをたたえた大きな声を投げかける。熱のこもった、全体に目配せの利く粘り強い監督の姿勢に感動した。その甲斐もあってか、6回表に6点を入れ、3点差まで詰め寄る。6回裏0点に抑え、いよいよ最終回へ、2アウト満塁までいったが、3点の壁は厚く、7対10でゲームセット。負けはしたものの堂々たる準優勝。立派なものである。なによりも、保護者や私たち観戦者にワクワク・ドキドキを与えられる試合を見せてくれたことに、選手と監督の素晴らしさを感じた。なかなかできることではない。

2日間の地区中学校秋季体育大会を通して、美々津中生徒の素晴らしい姿に多く接することができた。また、3年生や選手以外の生徒にも大会の感動を与えてくれた。結果をしっかりと受け止め、次の目標に向かって動き出している各部活動の生徒達がいる。今後の飛躍に期待したい。



〔地区中学校秋季体育大会結果〕

【団体戦】

- 女子ソフトテニス部 優勝 ※県大会出場
- 女子バレー部 準決勝惜敗
- 軟式野球部（東郷中と合同チーム） 準優勝

【個人戦】(敬省略)

- 女子ソフトテニス
 - 谷岡 杏々・野別 楓梨ペア (2年) 1位
 - 股野 陽菜・前田 茜 ペア (2年) ベスト 8
 - 新名 杏樹・黒木 実南ペア (2年) 3位
 - ※3ペア県大会出場
- 卓球
 - 1年男子 黒木 俐仁 ベスト 8
 - 2年男子 富山 雄己 ベスト 8
 - 八尋 貴光 2回戦惜敗

牧水かるた大会 団体準優勝、個人4位おめでとう



団体戦…是則わかな 黒木遥希
那須心奏 黒木優那
個人戦…黒木実南(4位)
安藤愛空 海野結愛

避難訓練 (2次避難所へ)



毎学期実施している避難訓練を9月7日(水)に行いました。今回は2次避難所(JA美々津支店)まで行きました。いつ起こるか分からない大地震と津波。だからこそ、正しい知識を身に付け、慌てないように訓練が必要です。